

新善光寺 寺報 北 縁

2021年5月 Vol. 46

ほくえん

今年の定例法要について

昨年より新型コロナウイルス感染症拡大により、予防の観点からお彼岸やお盆などの定例法要は形態を変えておこなったり、僧侶のみでお参りをしている法要もあります。

残念ながら今年も引き続き同じようにさせていただきます。なお、納骨堂や合葬墓へのお参りは、特に制限は設けておりません。

月参りやご法事などのお参りも、少しでも不安なところがあれば、何なりとおっしゃってください。

来られない場合でも朝のおつとめの時や、納骨壇の前にてこちらでご供養させていただくことも可能です。

お問い合わせは電話またはホームページの問い合わせフォームからも受け付けております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



3月の春彼岸法要の様子



4月の灌仏会の様子

〈住職より〉

当山本堂の前庭には、牡丹の株があります。今年は、例年よりも花芽が多くついているように感じます。時季が来れば、花を咲かせ、散っていきます。散っては咲き、また散って咲く花の姿は、私たちに何か大切なことを教えてくれているかのようです。

ところで、生物学者の福岡伸一さんは、次のように言っています。「(ウイルスの) 運動はときに宿主に病気をもたらし、死をもたらしこともありうる。しかし、それにもまして遺伝情報の水平移動は生命系全体の利他的なツールとして、情報の交換と包摂に役立っていった」。ここ1年半ほど、私たちは疫病の難に悩まされています。今から100年ほど前にスペイン風邪という疫病が当時の人々を苦しめたと聞きます。大阪の一心寺には、「大正八・九年流行感冒病死者群霊」と刻まれた供養塔がまつられているそうです。さらに時代はさかのぼり、今から800年ほど前の法然上人が生きておられた時には、疫病などの理由により「寿永」「建永」の改元がなされたようです。

今、私たちは1000年単位で物事をとらえることが、求められているのかもしれませんが。

今年も6月の御忌・永代祠堂法要は 僧侶のみでお参りします

今年度のこの法要も新型コロナウイルス感染症対策のため、僧侶のみでおこないます。参拝はお控えいただきますようお願いいたします。

6月20日(日)

14時00分：合葬墓前法要

**14時30分：御忌・永代祠堂法要
(YouTubeにてライブ配信します)**

※法要でご供養(回向)をご希望される方は振替用紙をお送りしますのでお問い合わせください。

御忌・永代祠堂法要とは

「御忌」とは簡単にいうと浄土宗を開かれた法然上人の法事のことです。

阿弥陀仏を信じ、お念仏を申せば必ず救済を受けて平和な毎を送り、浄土にうまれることができるという万民救済の教えを広め残してくれたことに感謝する法要です。

また、併せて永代祠堂法要もおこないます。永代祠堂を申し込まれた場合、本堂にて戒名が刻まれた位牌札を祀り、毎日順繰りに回向いたします。

この法要ではお祀りしている全ての精霊様を一斉に回向・供養します。
(今年度は新たに15霊位様をお祀りしました。)



永代祠堂の申込は随時受け付けております。
一霊位様……志納金 20万円

浄土宗の総・大本山について

第1回目：知恩院

昨年より予定しておりました京都団体参拝旅行が、昨今の新型コロナウイルスの影響によって開催が困難な状況が続いております。そのような状況でありますので今号より少しでも旅行の気分を持てる様に浄土宗の総本山知恩院、七大本山について順番に紹介していきたいと思っております。

まず初めに私達浄土宗にはその歴史の上で大切なお寺を『本山』と称しまして、京都の知恩院を『総本山』とし、それを筆頭に東京の増上寺、京都の金戒光明寺、清浄華院、知恩寺、長野の善光寺、神奈川の光明寺、福岡の善導寺という七つの『大本山』があります。

その中でまず今号より3回に渡って総本山知恩院について紹介します。

知恩院とは

正式には華頂山知恩教院大谷寺かちょうざん ち おんきょういんおおたにでらと云います。法然上人が浄土宗を開かれた承安5（西暦1175）年に比叡山より下り、京都の東山吉水にある草庵（今の知恩院勢至堂のあたり）に移り住み、訪れる人を誰でも向かい入れお念仏の教えを説くという生活をされたという場所を起源に持ちます。その後、往生される80歳までこの場所を中心にお念仏の教えを広げられました。



三門



御影堂

御影みえい（御影）をお祀りしているので御影堂みえいどう（大殿）と呼ばれ、その御像を毎年12月に布おみぬいしきで拭き清める法要を御身拭式と呼び、これは1650年頃より行われています。

現在の知恩院は大規模なお堂が並びますが、これは江戸時代に入ってからのものであり、浄土宗を護持した徳川家の影響です。

次号は知恩院内の建物について紹介したいと思います。

知恩院の住職を御門主ごもんすげいか下と呼び、現在は第88代目を伊藤唯眞下が勤められています。そして浄土宗僧侶は最終修行である加行けぎょうを知恩院か東京の増上寺にて3週間にわたり籠りっきりで勤め上げることが必須となっております。

御本尊はもちろん浄土宗で一番大切にしております阿弥陀様ですが、中心となるお堂は法然上人の御

像（御影）をお祀りしているので御影堂（大殿）と呼ばれ、その御像を毎年12月に布



ご朱印

《納骨堂・合葬墓の紹介》

新納骨堂好評です！

新善光寺には本堂の地下から連なる納骨堂と2018年にできた新納骨堂があります。

新納骨堂は今までの納骨堂のイメージを刷新して明るさを強調したつくりとなっており、また、中庭を見渡すことができますので四季折々の風情を感じられます。

一番人気のタイプは5霊位様収蔵可能な二段型で、上段部分はおかげさまで残りが無くなりました。まだ下段は空いております。

エレベーターを完備しており、車イスの方でもお参りしやすいです。

どうぞ、ご興味のある方はいつでも見学は可能ですのでお問い合わせください。



永代供養合葬墓～自然の緑に囲まれて～

昨今、家族構成や故人様を偲ぶ方法の変化に伴い、永代に渡って寺でお祀りし、寺が責任をもって管理する永代供養墓というニーズが増えてきています。公営墓地や民間墓地などのお墓から改葬されるというケースも多く見受けられます。

新善光寺の永代供養墓は北側にあり、春はツツジ、夏はアジサイが咲き、秋は紅葉と新納骨堂と同様に、ご供養しながらも四季を感じることができます。



冥加料		
永代供養志納金	一霊位様	20万円
納骨志納金	一霊位様	5万円

冥加料はあくまで目安で、先祖代々でお納めしたい場合などは費用も異なりますので、ご相談ください。

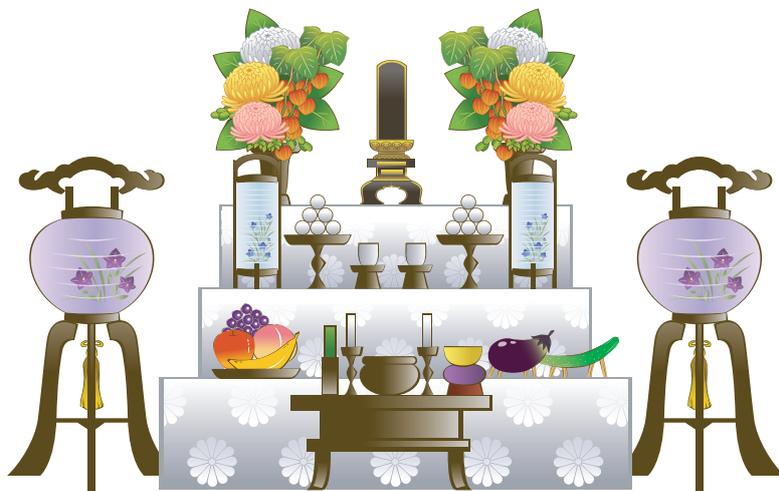
年中行事のはなし ⑥

新年度が始まりゴールデンウィークも終わりましたが、未だコロナ感染まん延に収束が見られず、日々暗いニュースが流れています。ワクチン接種が頼みの綱ですが、遅々として接種が進んでいないようで、まだまだ自己防衛の日々が続きそうです。年中行事のおはなしを始めたのは一昨年（2019年）の10月号からなので、その時はこのような世相になろうとは予想もしていませんでしたが、今回で年中行事のおはなしは最終回となります。今回は「8月」と「9月」のおはなしです。

◆ 盂蘭盆会

「盂蘭盆会」は通称「お盆」と呼ばれ、皆さんには一番なじみのある仏教行事です。このお盆には、ご先祖さまを極楽のお浄土よりご自宅にお迎えし、お坊さんに読経してもらうなど供養します。ご自宅のお仏壇の前には、「精霊棚」という供養棚を作り、季節のものや、ナス、キュウリを馬や牛になぞらえお供えし、ご先祖を迎えます。札幌近郊では、「ナノカボン」と称して8月7日にお墓の掃除を行い、ご先祖をお迎えする準備をします。そして8月13日の「迎え盆」から、16日の「送り盆」までをお盆の期間とすることが一般的です。また「ハツカボン」と称して8月20日までをお盆とする地域や、その日に墓参りを行う地域もあります。

「盂蘭盆」の語源はサンスクリット語「ウランバーナ」と言われていますが、これは「倒懸」という意味です。「倒懸」は、地獄・餓鬼・畜生と呼ばれる世界に堕ちた亡者の苦しみが、生きた人間が逆さ吊りにされるくらいに辛いものであることを示す言葉です。



このお盆の起源となる『ぶっせつう らぼんきょう仏説盂蘭盆経』は次のような内容の経典です。

『ある日、お釈迦さまの弟子・目連尊者が神通力により、自分の母親が餓鬼の世界に堕ちて苦しんでいることを知ります。なんとか助けたいと悩む目連尊者にお釈迦さまは、「大勢の僧が夏の修行を終える7月15日に、彼らに食べ物や飲み物を献じれば、その功德により母を救うことができよう」と説かれました。』

これにもとづき、日本では先祖供養の行事として行われるようになりました。

◆秋彼岸会

「秋彼岸会」は9月の「秋分の日」を中日として前後3日ずつの一週間を期間とする行事です。内容は44号でご紹介した「はる ひがん え春彼岸会」に準じます。秋分の日には「昼と夜の時間が同じ」つまり、太陽が真東から昇り、真西に沈むという日になります。浄土三部経のひとつ、「かん むりょうじゆきょう観無量寿経」の中には、「極楽浄土のある西の彼方に沈みゆく夕日を観て、浄土を想え」という「にっそうかん日想観」という修行法が説かれています。日の沈む西方にある極楽への想いを手向け、先立った先祖を供養するのに適した時期がこの「彼岸会」であるということです。

彼岸の語源は、「パーラミター」という言葉でその意味は「とう ひがん到彼岸」です。「到彼岸」とは、「悟りの境地に達する」ことですが、浄土宗では「彼岸（お浄土）への往生を願う」という意義でとらえます。自らの往生を願い、先立ちし先祖へ想いをいたすのがお彼岸の意義と言えましょう。

お彼岸のお供えに「おはぎ」があります。これは、秋に咲く「はぎ萩の花」に似ていることから、「御萩」の字を当てたと言います。春に同じ餅菓子をお供えしますが、春の花「ぼたん牡丹」より「ぼたもち（牡丹餅）」と呼びます。このように呼び名を変えるのは、日本人のもつ季節感ならではのですね。

さて、「年中行事のおはなし」は今回で終了です。浄土宗と通仏教のごく一般的な行事のお話でしたが、各地域などではもっと色々な行事が行われています。

機会があれば、またこの紙面でご紹介してみたいと思います。



ズッコケ尼さんの仏教こぼれ話②⑦

〈亡き人との再会の喜び ～お浄土の楽しみ～〉

こまきね きんしょう
駒木根 琴生



北国特有の梅と桜が同時に咲き出す春がやってきた。美しく咲く様が自粛中に奪われかけた優しさを運んでくれた。強い春風に散りだした桜の下で、長男の四十三回忌の巡りに指追った。

春彼岸の最中、納骨堂へ入った。馴染みのNさんが居た。ご主人様の霊への手向けのご供養の後、席を変えた。彼女の住む岩見沢の積雪は異常だった。ご主人様不在をあらためて痛感した彼女は「夢でもいいから会いたいのにも一度も無いのよね」と打ち明けた。更に、私にも亡き息子とはどうなの?と問われた。考えてみると一度も無かった。

東日本大震災十年目の三月、未だ行方不明者二千五百人以上の中の一のお母さんの「幽霊でも娘と会いたい」という悲痛な叫びを聞いた。愛する者を失った者の共通の願いであろう。

この日より五日後、息子の夢を初めて見た。私の手編みの緑のセーターを着た息子は中学二年の当時より大人びて見えた。「元気?」の問いにも「今どこ?」の問いにも答えは無かった。どれ程の時だったのか…目が覚めた。文句なく嬉しかった。お浄土での成仏修行満願を信じていたが、少し淋し気な様相が気になりだした。此の世での母のお念仏不足を戒められたと感じ、仏壇の前に座りお念仏をととなえた。

歌手の森山良子さんの「涙そうそう」は亡き兄の再会の願いを込めた歌である。二十三才の兄は心不全で突然亡くなった。ずーっと憧れていた兄だけに打撃は大きかったようだ。歌詞の「会えると信じて生きてゆく」に心を込めて歌う森山さんを知った。

浄土宗には会いたい願いに寄り添う「俱会一処・同一蓮」というみ教えがある。亡き方とお浄土で再会できる喜びがある。私が命終えた時、息子が蓮の台の半分をあげて待っている「またの再会」である、引撮縁^{いんじょうえん}に因る有難い楽しみである。

昭和五十四年、中学二年進級の春休み、祖父に会いたいと突然釧路へ出かけた。出来たばかりの丹頂鶴センターを訪ねたようだ。道端に春の訪れの喜びを告げるフキノトウを見つけて心躍らせた彼は小学六年生時の先生に礼状を出していた。息子の訃報に驚き、その礼状を届けてくださった。そこには死に対することは一片も無く、見つけたフキノトウに準じて、新しい中学への喜びに溢れた便りだった。

ワクチン投与が始まり、コロナ禍の出口が見えだしたようにみえる。自粛が解除され、少しでも元の生活に戻れると思うだけで新しい風が私に向かってきた。



“今の別れは しばらくの悲しみ 春の夜の夢のごとし”

※引撮縁とは、お浄土に往生した者が、この世で縁のある人を導くこと。

一休禅師の足跡をたずねて

さつきの花が咲く頃、京都府京田辺市にある酬恩庵（通称 一休寺）にお参りしたことがあります。このお寺は、一休禅師（1394～1481）が晩年を過ごされたところであり、禅師のお墓があります。一休禅師といえは、“一休さん”と親しまれ、アニメのモデルにもなったお方で、もっともイメージしやすいお坊さんかもしれません。その一休禅師が詠まれたとされるお歌がこちらです。「有漏路より 無漏路へ帰る 一休み 雨ふらば 降り 風ふかば吹け」。有漏路とは、迷いの境涯のこと



酬恩庵総門



一休禅師のお墓

であり、自己中心的な在り方をしている私たちが喜怒哀楽にふりまわされて思い悩んでいる状態のことをいいます。対して、無漏路とは、その思い悩んでいる状態から解き放たれて、やすらぎの境地、つまり覚りに到った状態をいいます。仏法に出会い、その仏法を一生涯実践し続けることを決めた一休禅師にとっては、この世の中で起こる辛いこと悲しいこと苦しいこと……そんな嵐が身にふりかかろうとも、絶対の安住の地に到る間のひと時に過ぎない……という禅師の快闊な生き方を感じます。

さて、浄土宗大本山である久留米の善導寺の六十五世・藤堂俊章上人（1914～1997）は、辞世で次のように詠んでいます。「この道の ゆきつく果ての ふるさとへ 永遠の ひと日を ふみしめて往く」。お念仏の道を歩んできた上人にとって、命終わってゆきつく

果ては、阿弥陀さまの御国であるお浄土です。もうすぐ終わる命だからといって、決してなげやりにならないで、丁寧（ていねい）に一日一日を大切に生きるお姿がうかがえます。

一休禅師にしろ、俊章上人にしろ、宗門の違いや時代が異なるものの、絶対の安心を得ている人の生き方には、心動かされるものがあります。そして、その方を慕い、その生き方を真似したいと思います。人の生き方は、千差万別です。しかしながら、お手本にしたいお方とめぐり会うことは、私の人生を彩（いろど）ってくれます。

まだ色浅いもみじの葉が風にゆれる初夏、一休禅師をより近く感じたくて、訪れた酬恩庵でした。

〈文：立花 俊輔〉



酬恩庵南庭

—お檀家タウンページ～ともいき訪問②—

日本醤油工業株式会社

旭川の歴史と共に歩み、伝統を守り、新たな世界を切り開く



今回はお檀家の鈴木修様が販売課長をつとめるキッコーニホンの愛称で親しまれている日本醤油工業株式会社様へ伺いました。

場所は旭川市曙1条1丁目にあり、元々は旭川最初の入植者である鈴木亀蔵氏が明治24年に笠原兄弟と興した笠原酒造店が始まりです。その後、日本清酒旭川支店となりますが、第二次世界大戦末期の昭和18年に政府より酒造から醤油醸造を命じられます。そして翌年に野田醤油（現・キッコーマン）と日本清酒の協力のもと日本醤油工業として醤油醸造をスタートしたのです。つまり“キッコーニホン”とはキッコーマンと日本清酒を掛け合わせたということになります。

浅利邦章社長は「醤油は日本の文化です。戦争の時に満州などで広まっていきました。世界の調味料として胸をはれるのではないのでしょうか。」と醤油の力を話してくださいました。

社は【誠実・信頼・協調】で「まず誠実が第一で、ここが出発です。信頼を得るためには誠実であり、真心をもって仕事をしなさいと。そうすると人に信頼され、会社が伸びはじめます。そうなったら協力していく。社員・社会・お客様に対する協調で、そういう中で会社は広がるんだよという教えです。」と話され、いつの時代にも通じる言葉を非常に大切にされています。



浅利邦章社長



社は



左：高垣まゆ美店長、中央：筆者（太田真海）、右：鈴木修課長 工場内で醤油を運んでいたトロッコのレール跡

また、建物・工場内も鈴木課長に案内していただき、創業以来の設備を見て、変わらぬ醤油づくりを学びました。

直売店には醤油のほかにも、つゆやドレッシング、醤油アイスキャンディもあります。中でも雲丹醤油は発売以来、10万本以上も販売されている大人気商品です。他にも玉ねぎドレッシングはテレビ番組で、ランキング1位をとるほどの人気です。（雲丹醤油は“北広島アウトレット内のロコファームビレッジ”で、玉ねぎドレッシングは“きたキッチンオーロラタウン店”でも購入できます）

さらに、北海道との共生が大きな目標の一つで、道内各地の特産物の特長を引きだして唯一無二の商品を開発されています。網走湖のしじみや湧別のほたて、比布の小葱など43市町村の特産品をふんだんに使った醤油等がそれぞれあります。昨年よりネット通販もはじめられ、どこからでもこれらの商品を買うことができます。（5月末現在、生活応援セールとして一部商品の特価価格で販売しています）

食卓に道産食品を使った色々な種類の醤油を、その日の料理・気分に合わせて選ぶという楽しさはいかがでしょうか？

“これまでも これからも”と醤油づくりの伝統を守り、挑戦しつづける姿勢を学ばせていただいた取材となりました。



大人気の雲丹醤油は高級な雲丹をギュッと凝縮した美味しさです



玉ねぎの旨味を詰め込んだ、しょうゆベースのドレッシング



お刺身には“しじ美醤油”が合うとの声も多数とのこと（高垣店長談）



日本醤油工業株式会社

キッコーニホン

〒070-0061 旭川市曙1条1丁目

直売店営業時間：午前10時～午後5時30分 定休日：年末年始

問い合わせ先：0800-800-7772（フリーアクセス）

ネットショップ URL：<https://nihonshoyu.thebase.in/> キッコーニホン

検索

清璋寺から

清璋寺のレンギョウが満開になりました！



清璋寺境内のレンギョウが春の訪れを知らせるように綺麗に満開となりました。レンギョウの花言葉は「希望」。春の訪れにふさわしい花とされています。満開に咲き誇る黄金色のレンギョウを眺めると、阿弥陀様のみ光とも思える程、神々しく心も温かくなります。

冬の長い北海道において春の花が咲き誇るこの時期は、ひとときの幸せを感じることでできる季節の到来です。

今は苦しさが勝り暗くとも、必ずや黄金の光がさしてくることを願いながら、お寺としてもコロナウイルス感染予防策を講じ法務に努めて参ります。

清璋寺 札幌市手稲区西宮の沢5条1丁目19-35 TEL 011-668-5110

しろいし幼稚園から

すくすく育つ“ほとけ”の子

5月10日に新善光寺学園「しろいし幼稚園」の園児たちが元気に参拝に来ました。

本堂で“お花”と“灯り”をささげ、住職の話聞き、阿弥陀さま、お地蔵さまなどに手を合わせていきました。

しろいし幼稚園では仏教的倫理観を根底とした人間教育（仏教保育）の実践に努め、「あかるく ただしく なかよく やさしく」をモットーに多くの“ほとけさま”の子を育てています。



学校法人新善光寺学園 **しろいし幼稚園**

〒003-0028 札幌市白石区平和通1丁目南6番16号 URL siroisi-pippara.ed.jp
TEL 011-861-4426 FAX 011-866-0707 E-mail siroisi-pippara@cyber.ocn.ne.jp

慈啓会から

啓明ともいき保育園

啓明ともいき保育園は、札幌慈啓会の皆様方のご協力をはじめ、地域に求められる保育園として各関係機関と連携の中、定員90名以上の児童数を保ちながらおかげさまで7年目を迎えました。第1回卒園児は3名で今年から中学生になり、前年度は20名が卒園し各小学校へ通っています。



“ともいき”の理念のもと、人と人とのつながりを大切に、仏法僧の三宝「明るく・正しく・仲よく」を基本とし育ち合うことを目指す中、新入園児が泣いていたりすると、4歳5歳児中心に“どうしたの”と優しく声をかけたり、2歳3歳児は頭をなでてあげたりと共に思いやる気持ちが育まれています。乳児は小さいながらも他児と笑い合う姿に人との関わりの大切さを感じます。



昨年からのコロナ禍の中でマスク着用が日常化し、子どもの心の育ちに影響があるかとの声もありますが、温かいまなざし、優しい口調を心がけながら、これからも子ども達に寄り添い保育を進めてまいりたいと思います。



啓明ともいき保育園

〒064-0914 札幌市中央区南14条西18丁目6-5

TEL 011-561-5151 FAX 011-561-5158

URL sapporojikeikai.or.jp/facility/tomoikihoikuen/

慈啓会総合相談室のご案内

介護についてご心配やお困りのことがあればお気軽にご相談ください。

フリーダイヤル **0120-83-8291**

受付時間：8：45～17：00（土日祝は除く） Eメール：info-jk@sapporojikeikai.or.jp

当山のお仏像を紹介します③

ご本尊脇侍 勢至菩薩さま

当寺、本堂のご本尊・阿弥陀如来さまの向かって左側におられるのが、この勢至菩薩さまです。阿弥陀さまを中心に、右に観音さま、左に勢至菩薩さまをおまつりし、弥陀三尊とよばれます。ところで、浄土宗の



宗祖であり、お念仏の元祖である法然上人（1133～1212）は、幼いころ勢至丸というお名前でした。また、浄土宗総本山である知恩院（京都市東山区）の法然上人御廟（お墓）の隣にある本地堂には、勢至菩薩さまが単独でおまつりされています。さらに、『観無量寿経』には、観音さまと勢至菩薩さまが勝れた友として念仏申す人を護ってくださるとあります。我々念仏者にとって、親しみある菩薩さまなのです。



仏教講座のお知らせ

毎月第4土曜日に仏教について学ぶ講座をおこなっています。毎月多くの方にご参加いただき、好評を得ております。

現在は、ソーシャルディスタンスを保ち、換気もおこないながら毎月写経をしています。題材はその月ごとに変わり、道具は全てこちらで用意しておりますし、スイーツ好きの立花僧侶厳選のお菓子も付いています。



なかなか先が見えない世の中ではありますが、心を静かに保ち、一心に写経に向き合うのはいかがでしょうか？ご参加お待ちしております。

〈次回〉 6月26日（土）午後2時開始
第58回仏教講座「写経」（参加費500円・事前申込不要）
以降、7月24日、8月28日、9月25日、10月23日、毎月第4土曜開催

北縁 なんでも Q & A

いつもご質問、感想等、ご投稿いただきありがとうございます。

コロナ禍での生活も一年以上続き、何かと新しい生活様式が当たり前になってきた今日この頃ですが、それに伴い、ふとした疑問が出てくることもあるかと思えます。そんな時は本コーナーをご利用してみてください。出来得る限り、仏教的視点を切り口にお答えしてみたいと思います。

Q カレンダーにある「仏滅」という日に仏事を行わない方がいいと聞きました。本当のところどうなのでしょう。また、「大安」に仏事を行うことはいいのでしょうか。

A 「仏滅」「大安」は「六曜」と呼ばれる中国で発生した暦注です。「暦」のひとつで、元は時間を区切って指標として活用していたものです。日本では日にちの吉凶を図る指標として利用されているので、結婚式などの慶事には「大安」を選んで行うといったことがあります。

さて、ご質問の回答ですが、「仏滅」に仏事を行うことは凶事ではありません。そもそも仏教は「縁起」という「物事は因果関係によって成り立つ」という基本的思想があるため、占いのごとく俗信的に物事を決めることはむしろ対局的な考えとなるからです。

今の「仏滅」という字が使用される前には「物滅」という漢字が当てられており、これは「全て虚しい」といった意味で使われていたのが本義なので、仏教には関係ないという事になります。

逆に「大安」は「泰安」がもととなっているため、「成功しないことがない日」とされています。先ほどの理由で大安であってもなくても仏事を行ってかまいませんが、この意味からすると、むしろ法事などのご供養は推奨できる日かもしれませんね。

民間信仰として、また当て字的な習慣ごととして、この六曜のうち「友引」には葬儀を行わないということがあります。良し悪しではなく長年の習慣ごとで火葬場がお休みになっているので、出棺ができない日とされています。余談ですが、以前札幌市では里塚斎場の改修工事に伴い、炉の数が減ったので、この友引にも火葬場を稼働させようという議論があったようですが、その話は流れてしまったようです。

せっかくなので、一般的にこの「六曜」がもつ意味を取りまとめてみます。ご家庭での行事を決めるときにゲン担ぎ的に参考にしてみるといいかもしれません。

- **赤口**：極悪の神が民衆を悩まし、万事に凶とされ、新しく事を始めるべきでないという日。
- **先勝**：勝負ごとや訴訟、急用などに運がよい日とされ、早い時刻ほどよく、午後は凶になるとの俗信がある。
- **先負**：先勝の反対で、午前中はとくに悪く、午後はしだいによくなるという俗信がある。
- **大安**：この日は万事に吉日とされ、六曜の最良の日とされている。
- **友引**：勝負なしの運勢。朝晩は吉で昼は凶。「友を引く」意味に受け止め、葬儀や火葬を避ける習慣がある。
- **仏滅**：この日に病気になると長引くなどという。婚礼など祝い事を避ける人がある。

東京別院 霊源寺から

東京近郊でのお参り うけたまわります

東京都品川区にある霊源寺は新善光寺の東京別院になります。春と秋には彼岸法要、8月にはお盆参りもおこなっております。

また、都心ということもあり、納骨堂も大変人気があり、葬儀・法事の際はお寺もお使いいただけます。ご希望の方にはパンフレットをお送りいたしますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。



大光山 霊源寺

受付時間 9:00~19:00

毎日見学受付中

東急目黒線・不動前駅 徒歩7分(桐ヶ谷斎場真向かい)

〒142-0063 東京都品川区荏原 1-1-2 FAX:03-3494-6319

TEL:03-3494-1083

大光山霊源寺

検索

編集後記

毎週日曜の朝のお参りを、YouTube でライブ配信を始めたのが1年前、“よく観ていますよ”とお参りの際にお声がけいただくことも増えてきました。カメラワークや字幕などの改良を繰り返し、より一緒に画面越しでもお参りしやすくと考えながらおこなっています。

この新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、葬儀や法要の方法も変化していています。皆様と共に、より良い供養の在り方というものを見つけていきたいと思っております。

次号は10月発行予定です。ご感想・ご質問など、どんどん受け付けておりますので、どうぞよろしく願いいたします。(真海)

※新善光寺の日々の情報は各種 SNS にて公開しております。どうぞ、そちらもご覧ください。そしてこの「ほくえん」のご感想もお待ちしております。

新善光寺

検索



Hokuen 46

新善光寺寺報

北 縁

発行 / 2021年5月発行

発行責任者 / 新善光寺住職 太田真琴

〒064-0806 札幌市中央区南6条西1丁目 [TEL] 011-511-0262 [FAX] 011-511-4706

[ホームページ] <http://s-zenkoj.com> [Eメール] s-zenkoj@crux.ocn.ne.jp